



和 small だより

弟子屈町立和琴小学校

令和7年10月31日 発行者 校長 工藤 博之

～学校と家庭と地域で子育てする和琴小～

■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)



素敵な子どもたち

校長 工藤 博之

本校の「学習発表会」が、10月25日(土)に行われました。「学習したことをいかして最高の学習発表会にしよう」をスローガンに、和琴小学校の全校児童一人一人が輝く学習発表会になりました。学習発表会を通して子どもたちに育ってほしい力として以下のねらいをもって取り組み、指導にあたってきました。

- ①日常の学習成果を家族や地域の方の前で発表することを通して、児童一人一人の表現力を育む。
- ②協力して行事をつくりあげる達成感や、自己肯定感を得るとともに、互いの良さを認め合う態度を育む。
- ③保護者や地域の方に、学校の様子や児童の頑張りを身近に感じてもらう。

ご覧いただいた皆様には、子どもたちの姿がどのように見えたでしょうか？私たち教職員は、子どもたちが成長していく姿を最初から最後まで見取ることができます。「歌うことが好きで、楽しそうに歌う姿」「自分の台詞を堂々と言えた子」「練習の最初のうちは声が小さかったのに・・・」「恥ずかしがっていたのに」など様々な子どもたちの姿や練習している姿、指導されている姿を見ながら発表会での素敵な子どもたちの姿を見ることができます。宝石の原石が磨かれ輝いていくようです。和琴小学校の子どもたちは素敵な宝物です。

先日の屈斜路自治会敬老会にて、子どもたちへメッセージカード(はがき)を頂きました。今回は、はがきは用意しておりませんが、子どもたちへ感想やメッセージなどを何かの方法でお寄せいただくとありがたいです。

先日、白鳥が飛来する姿が見られました。屈斜路の地に冬が訪れているのを白鳥の飛来で気づかされるなんて感激と同時に屈斜路地区の素敵なおとこを発見しました。皆さんは冬の到来を何で感じられていますか？寒い冬ですが屈斜路地区の良さを楽しめる素敵な冬にしたいですね。

< 11月の行事 > 下校時刻は、前半が5時間・後半が6時間

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	土	週休日		
2	日	週休日		
3	月	文化の日		
4	火	へき地校体験実習(～14日) ALT 体力向上月間 安全点検日	14:00 14:55	○
5	水	全校集会	14:00	○
6	木		14:00 14:55	○
7	金	避難訓練・防犯教室 ALT 定時退勤日	14:00 14:55	○
8	土	週休日		
9	日	週休日 釧 P 連研究大会		
10	月	5時間授業	14:00	○
11	火	ALT	14:00 14:55	○
12	水	集合学習③	14:00	○
13	木	図書館バス お話タイム①	14:00 14:55	○
14	金	ALT 実習生離任式	14:00	○
15	土	週休日		
16	日	週休日		
17	月	個別面談①	14:00 14:55	○
18	火	ALT 個別面談②	14:00 14:55	○
19	水	ましゅうランド(1・2年) 個別面談③ お話タイム②	14:00	○
20	木	高学年食育指導 個別面談④	14:00 14:55	○
21	金	6年わくわく登校デー(弟中) ALT 個別面談⑤ 定時退勤日	14:00 14:55	○
22	土	週休日		
23	日	勤労感謝の日		
24	月	振替休日		
25	火	ALT	14:00 14:55	○
26	水	公開研究会(1～4年午前授業)	12:45 14:00	○
27	木	図書館バス お話タイム③	14:00 14:55	○
28	金	ALT 児童委員会 高学年食育指導	14:00 15:15	○
29	土	週休日		
30	日	週休日		

和琴小学校ホームページ

学校の様子や地域的话题を配信しています。ぜひご覧ください。

<http://163.44.3.160/app-def/S-102/washou/>



10月の和っ子

■地域文化体験兼単P研～ハーブ石鹸～

4日(土)に地域文化体験兼単P研としてハーブ石鹸づくりを行いました。講師の先生は、「SOMOKUYA」の土田春恵さんでした。まず、参加者が土田さんご自身が栽培している十数種類のハーブからお気に入りの香りを選びました。その後、成分を抽出し、粉石鹸と混ぜて好きな形を作りました。また、参加した保護者の皆様も、お子さんと一緒に楽しみながら体験することができました。

土田様、ご多用の中、講師を引き受けて下さり、ありがとうございました。



■令和7年度学習発表会

25日(土)に学習発表会を行いました。今年のスローガンは、「学習したことをいかして最高の学習発表会にしよう!」でした。地域の方々に観覧を呼びかけ、来校していただけたとともに、来賓として、教育委員会、町内学校関係者、自治会役員、学校運営協議会委員の皆さんにお越しいただきました。

発表のスタートは、低学年の「はじめのことば」です。何度も練習し、息ピッタリの5人の元気良い挨拶が体育館に響き渡りました。

低学年の発表は「わことスマイルツアーへようこそ!」です。生活科で学習してきた「和琴のすてきなところ」を、作文にまとめたり、大きな模型をつくりたり、寸劇にしたりと、様々な方法で子どもたちは準備してきました。楽しそうに演じる姿を見て、観客の皆さんも自然と笑顔になっていました。



中高学年の発表は「屈斜路クイズ王決定戦」です。これまでの学習で「おもしろい」「たくさん考えた」「みんなに伝えたい」と思ったことなどを、クイズにして、劇の中で紹介しました。観客を巻き込む仕掛けもあり、観客の皆さんも真剣に考えていました。ヒントにご協力いただきありがとうございました。



全校合唱では、「音楽のおくりもの」「心から心へ」「ね」を披露しました。曲想の全く違う3曲ですが、低学年の元気な歌声と中高学年のきれいな歌声が重なり、和琴の児童らしいすてきな合唱になりました。

今年の学習発表会は、スローガン通り、学習したことをいかした「最高の学習発表会」になりました。



■第2回いじめアンケート実施しました

●いじめとは？

児童等に対して、一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為であって、対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの(いじめ防止対策推進法より)。

学校は集団生活の中で様々な事を学ぶ場です。多様な育ち方をしてきた子どもたちが集まり生活をする、衝突やトラブルが原因で心身の苦痛を受ける事はいつでも起こり得ます。苦痛に寄り添って対応していく事はもちろんですが、それを回避、又は解決にもっていく態度や考え方を身に付けることも集団生活の中で学ぶべき事と考えています。

さて、9月に実施した今年度2回目の「いじめアンケート」において、4月から「嫌な思いをしたことがある」と答えた児童が2名いました。児童へ聞き取りの上、当事者同士で話し合い、現在は解決に向かっていきます。今後も、指導や見守りを続け、子どもたちがより良い人との関わり方を学ぶきっかけとしたいと考えています。

いじめには、加害意識がない場合や、被害にあっても否定したりする場合があります。「いじめアンケート」のみならず、今後も他のアンケートや面談、見取りなどを通して事実把握に努め、被害者の苦痛に寄り添った対応ができるよう心がけていきます。また、嫌なことがあったときにSOSを出せるよう支援していきます。

他者の心や行動はなかなか自分の思い通りには変えられません。変えられるのは関わり方です。願わくば、子どもたちがあたたかい思いやりと想像力をもって周囲の友達と関わり、皆が笑顔になれる学校を作り上げてほしいです。そして、職員はそれを守れるよう、時にはやさしく、時には毅然と、子どもたちと向き合っていきたいと思っています。